

## 【 第18回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和4年12月7日（水） 14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長 小川 久雄（カガウ ヒサオ）

理事・副学長（研究・グローバル戦略担当） 大谷 順（オオタニ ジュン）

司 会：理事（広報・ブランディング・行政連携担当） 宮尾 千加子（ミヤオ チカコ）

内 容：

1. 令和4年度教育活動表彰について グランプリ受賞 大学院生命科学研究部（保健学系）  
『仮想現実による「スキルの育成」と「学ぶ意欲と態度の育成」を目指した教育方法の開発』  
（資料1）
2. 令和4年度社会貢献活動表彰について 準グランプリ受賞 大学院教育学研究科  
『教育学部ましきプロジェクト』 （資料2）
3. 令和4年を振り返って （資料3）
4. その他

※新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で開催いたします。

## 文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化事業」

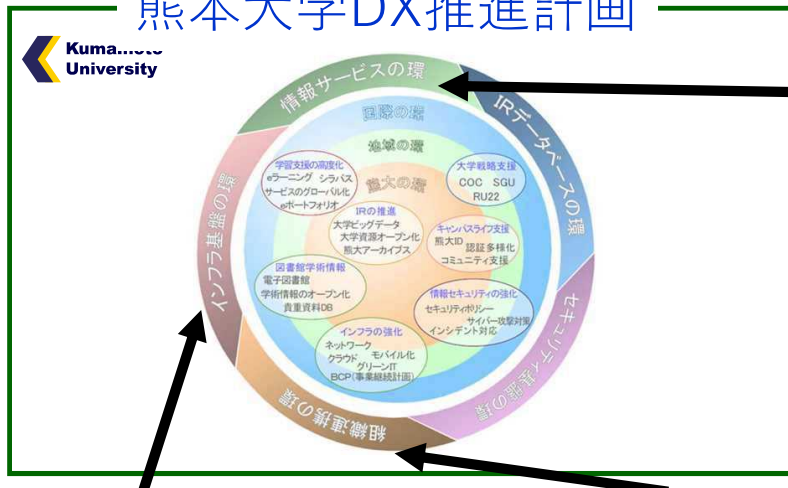
仮想現実による「スキルの育成」と「学ぶ意欲と  
態度の育成」を目指した教育方法の開発

熊本大学大学院生命科学部(保健学系)

前田ひとみ, 松本智晴, 橋本弘司, 内山良一

- 自律的に学び続ける力の育成
- 行動と経験の見える化による教育の高度化
- DXによる教育の効率化

## 熊本大学DX推進計画



### スキルの育成

現実空間と仮想空間を融合する複合現実を用いた教育コンテンツの作成



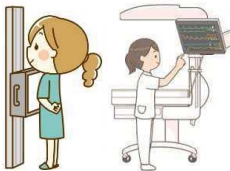
### 学ぶ意欲と態度の育成

臨床では学びにくい事例を仮想空間で作成し、現実空間と融合させた体験型実習



### デジタル環境の整備

撮影室や演習室の情報環境の整備



### 創る 育てる 展開する

部局を超えた連携によるコンテンツの作成



### 熟練者暗黙知の形式知化

熟練者と新人の認知、判断、行動を分析し、熟練者ノウハウを形式知化して教育に還元



# 内容

1

検査（橋本弘司）

2

看護（松本智晴）

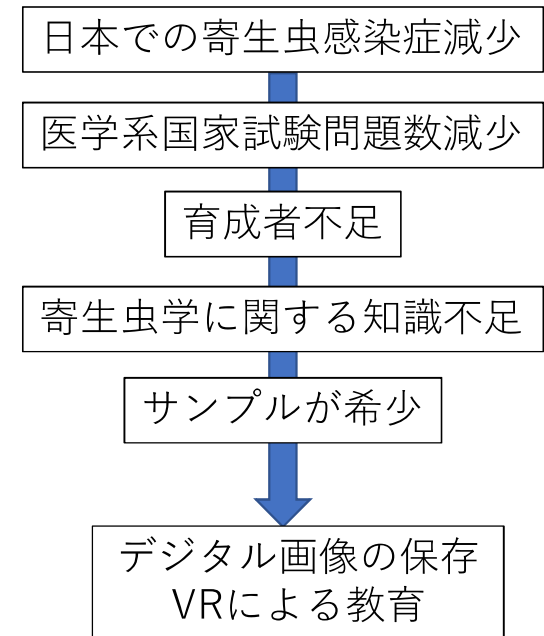
3

放射（内山良一）



# 寄生虫学教育の現状

寄生虫病(病原体)	年間死亡者数	感染者数	流行地域
1. マラリア(原虫)	40万人	2億人	熱帯地方
2. リーシュマニア症(原虫)	3万人	100万人	中近東、中南米
3. 鉤虫症(線虫)	6.5万人	13億人	熱帯、亜熱帯
4. 回虫症(線虫)	1万人	12億人	世界各地
5. オンコセルカ症(線虫) (河川盲目症)		>1500万人	西アフリカ、中南米
6. シャーガス病(原虫)		800万人	南米
7. 住血吸虫症(吸虫)	20万人	1億人	アフリカ、南米、東南アジア
8. アフリカ睡眠病(原虫)		700人	アフリカ
9. フィラリア症(線虫)		5000万人	熱帯地方



# 寄生虫検査 バーチャル スライドモード

## ●顕微鏡

KEYENCE BZ-X800

11,000 x 5,500 pixel

## ●VR装置

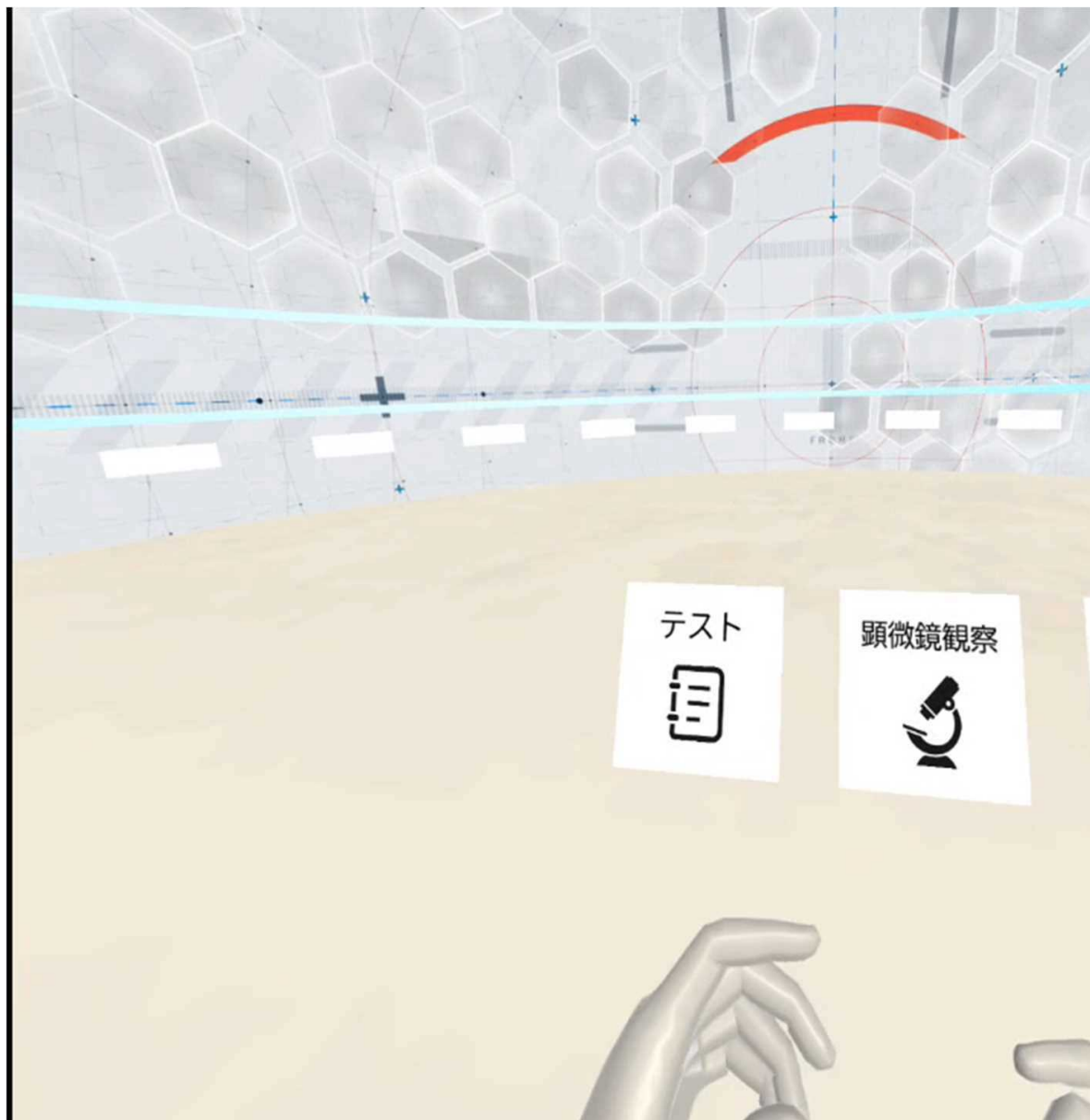
Focus3





# 寄生虫検査 問題解答 モード

問題点：  
変更が出来ない





# 内容

1

検査（橋本弘司）

2

看護（松本智晴）

3

放射（内山良一）

# Mixed Reality技術を活用した フィジカルアセスメント能力向上のための教材開発



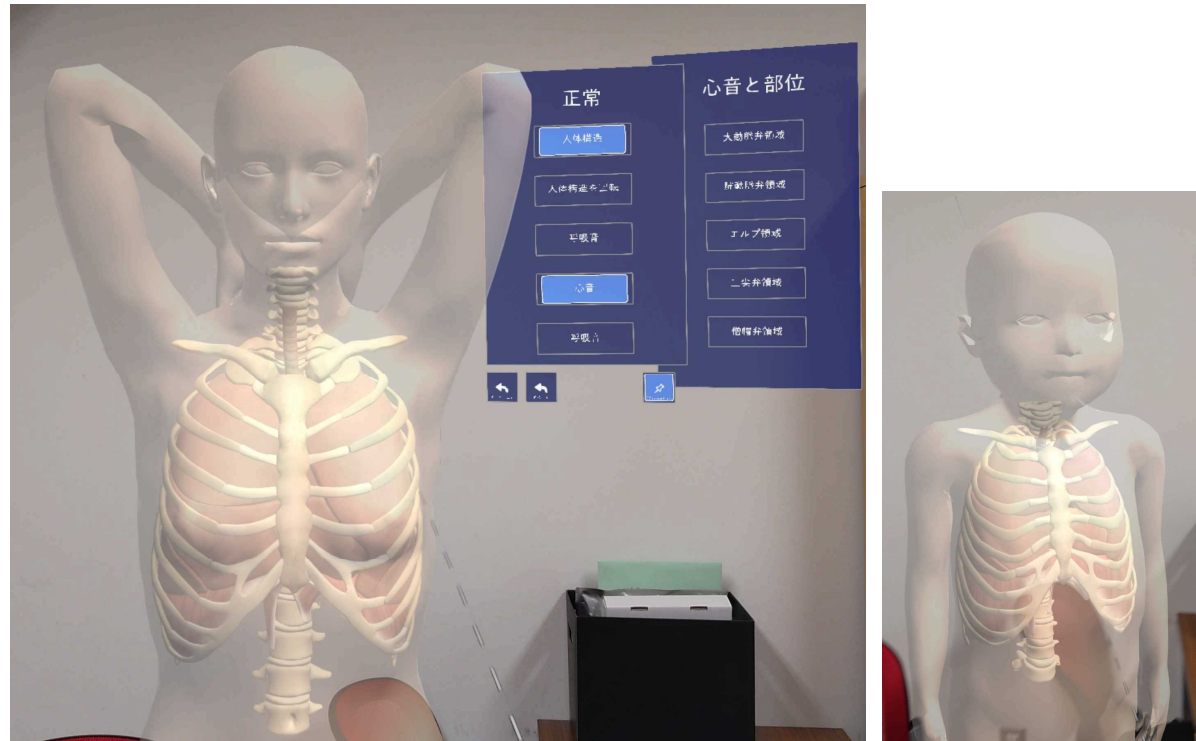
# 成人と小児のフィジカルアセスメント教材

## 【教材開発目標】

- 人体構造を確認しながら聴診技術を修得できる
- 疾患特有の心音や呼吸音を検査画像と照合しながら学ぶことができる

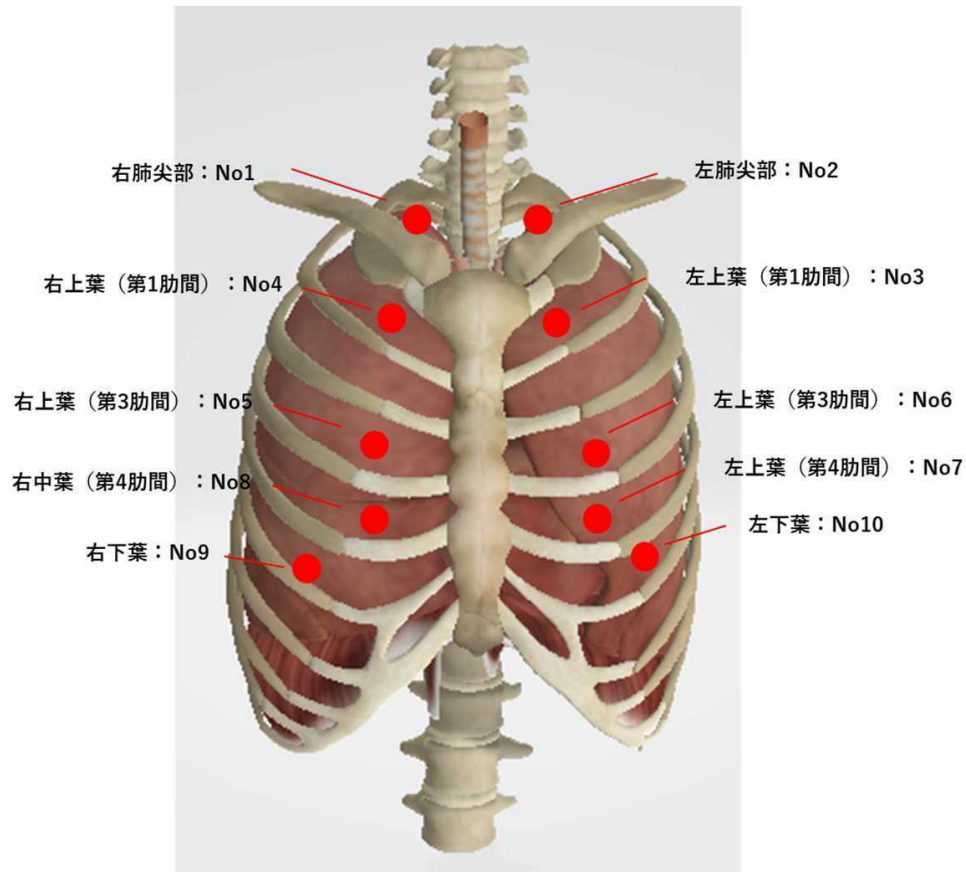


学生同士で聴診技術を練習している風景

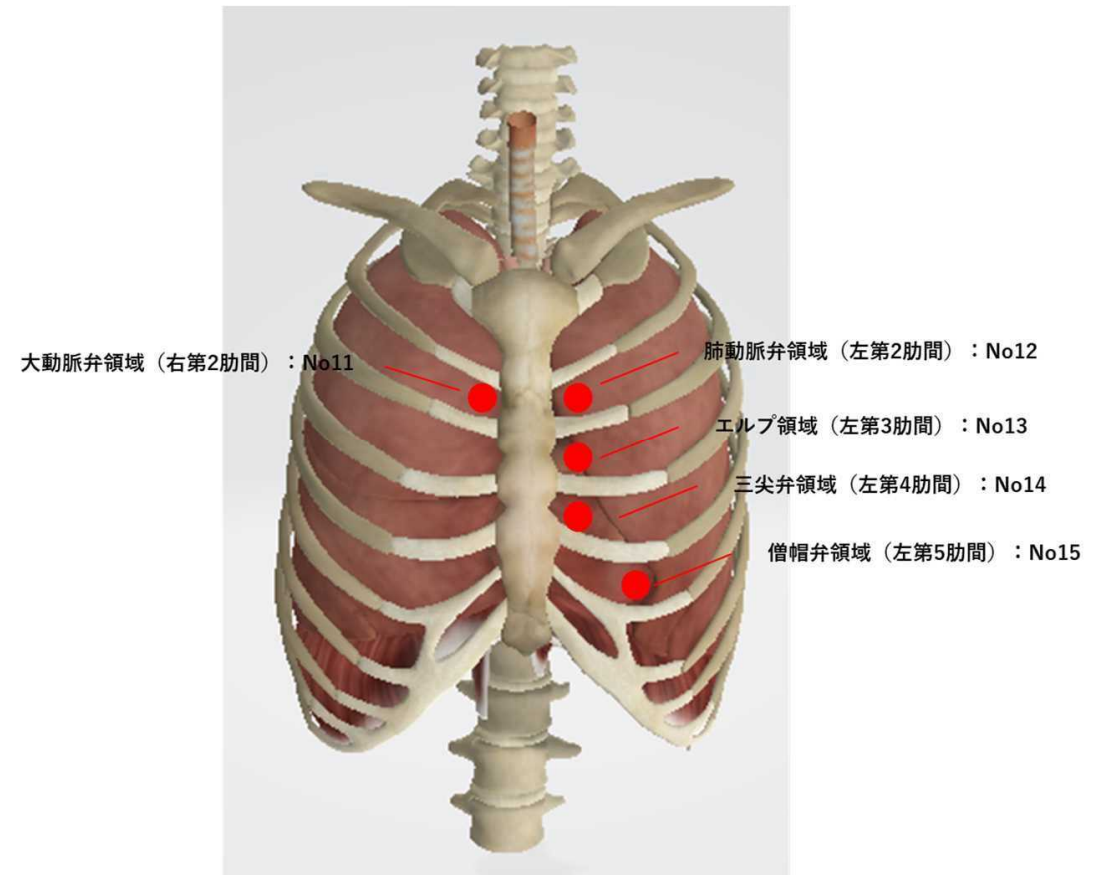


# フィジカルアセスメントの教材作成

## 呼吸音の聴取部位



## 心音の聴取部位



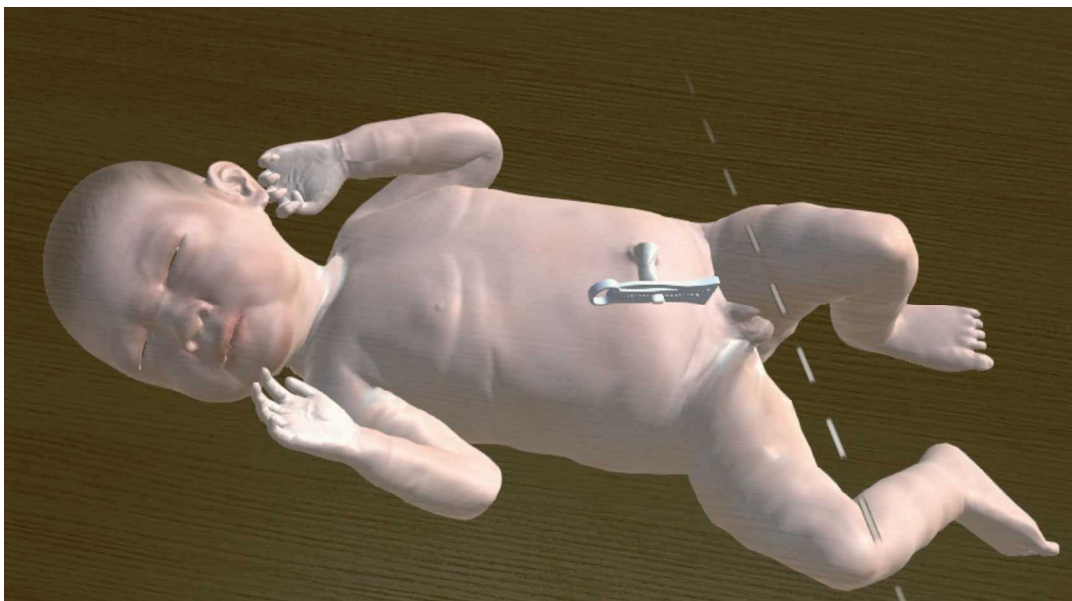


# 成人のフィジカルアセスメント教材の紹介



出生直後と生後1カ月の新生児、  
生後4カ月の乳児のアセスメント教材

【教材開発目標】 正常な発達を学ぶ



原始反射・粗大運動		1か月	4か月
ルーティング反射	頬に触れるとその方向に口を持っていく反応	○	○
吸啜反射	乳首が口に入ると連続的に吸う反応	○	×
足踏み反射	足や首を伸ばし、一歩踏み出そうとする反応	○	×
手の把握	不随意に対象物を握りしめる反応	○	×
非対称性緊張性頸反射	顔面が向いた方の腕・足を伸ばし、反対側の腕・足を曲げる反応	○	×
モロー反射	手を開き腕を伸ばす反応	○	×
首すわり		×	○
腹ばい		頭をあげる	胸からあげる

## 生後1カ月の新生児のアセスメント教材の紹介



原始反射・粗大運動		1か月	4か月
ルーティング反射	頬に触れるとその方向に口を持っていく反応	○	○
吸啜反射	乳首が口に入ると連続的に吸う反応	○	×
足踏み反射	足や首を伸ばし、一歩踏み出そうとする反応	○	×
手の把握	不随意に対象物を握りしめる反応	○	×
非対称性緊張性頸反射	顔面が向いた方の腕・足を伸ばし、反対側の腕・足を曲げる反応	○	×
モロー反射	手を開き腕を伸ばす反応	○	×
首すわり		×	○
腹ばい		頭をあげる	胸からあげる

文部科学省:<https://scheemd.mext.go.jp/>

大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ  
 ～Withコロナ／Afterコロナ時代の大学教育の創造～



# 内容

1

検査（橋本弘司）

2

看護（松本智晴）

3

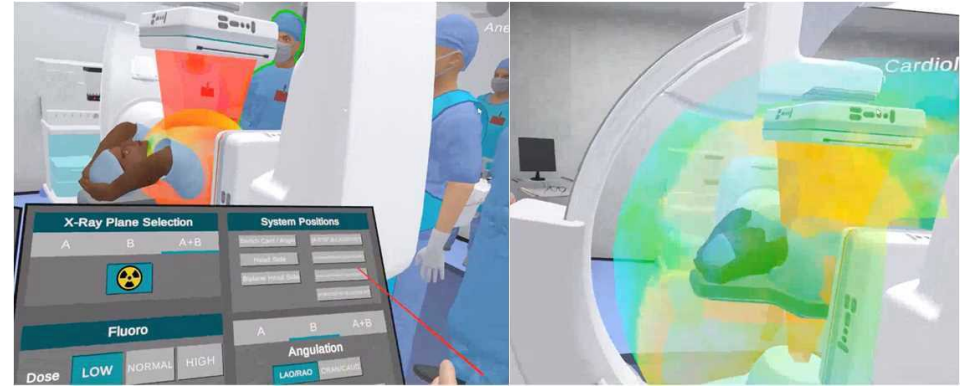
放射（内山良一）

# IVRにける放射線防護教育

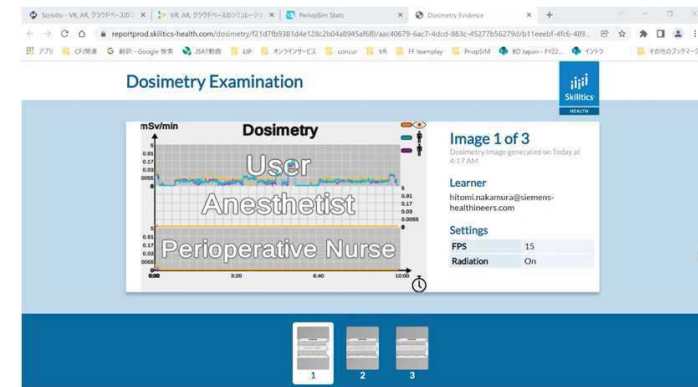
- IVR（画像下治療）は、X線透視で体の中を見ながらカテーテルを使って行う治療です。
- 血管の狭窄や閉塞を調べ、血管を広げる治療を行います。
- 放射線を使うため、患者や医療従事者が医療被ばくをします。
- 放射線を可視化して、どのような点に気をつけなければならないかの安全教育を行います。



<https://www.ncc.go.jp/jp/ncch/division/ivr/010/index.html>



バーチャル空間で放射線を可視化するシステムを導入



看護師や放射線技師の被ばく線量をバーチャルに計測

# 今後の展開

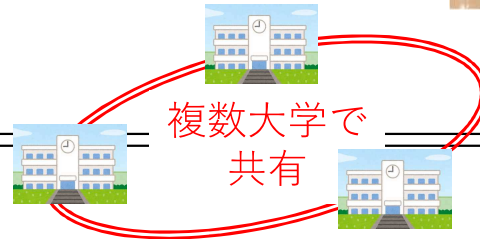
AR  
拡張現実

バーチャルとリアルが融合した実習環境

- 複数の感覚を使う体験型学習。
- 学ぶ意欲を高める。
- 実践と改良によりコンテンツを増やす。



MR  
複合現実



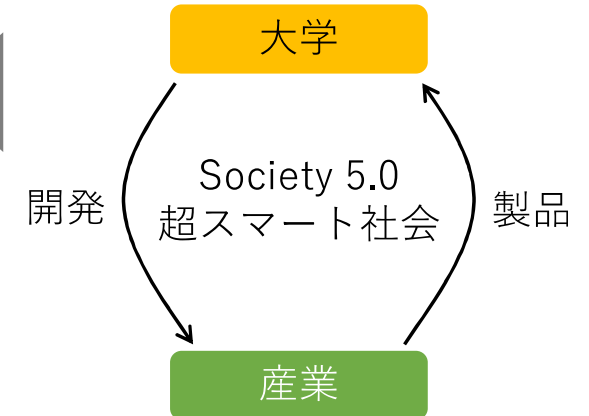
ビデオ  
教材

- ビデオとVRのハイブリッド講義。
- 教室の広さの制限がない。
- アバターで交流できる。



VR  
仮想現実

メタバース



- NFTを利用した著作権
- 大学の知的財産の管理
- 産業に循環させる仕組み

# ましきプロジェクト

教育学部、松永拓己です。

ましきプロジェクトについてご説明します。

## ましきプロジェクトの目的について

- 地元熊本 of 教育学部として、熊本地震の被災地である益城町の児童生徒の「学び」に関する地域社会および学校現場のニーズを踏まえ、復興の歩みのなかで息の長い学習支援・学校支援を行う。

2016年4月の熊本地震が発端でございます。6年前の熊本地震の中心となっていました益城町は特に大きな被害があり、家を失った人が多い地区となりました。。多くの方が仮設住宅での生活を強いられ、当然ながら、子ども達の学習においても支障があり、施設面、心の面からも学習に関しての場、気持ちなどへの問題が発生しており、それらへどれだけ寄り添うかということで始まった取組でした。

- 認定NPO法人カタリバは2016年11月にテクノ仮設団地、17年8月に木山仮設団地に夜間学習会を開設した。
- 2019年4月からは、教育学部が運営を引き継いだ流れとなります。

## はじまり当初の主な活動計画


活動	回数	会場数	人数	交通手段
①仮設団地（木山・テクノ）における夜間学習会（19:00-21:00）	週2回	2ヶ所	各会場 2人	産交バス等
②益城中・木山中における放課後学習会（定期試験前）	年4回	2校	各校 10人程度	大学バス等
③益城町の不登校児童・生徒（別室登校）に対する支援学生の派遣	不定期	2校	若干人	産交バス等
④その他の活動（ものづくり等の出前）	—	—	—	—

①と②は、認定NPO法人カタリバの活動の一部を引き継ぐ。

①と③は、往復のバス代相当の交通費を支給。②は大学のバスを利用。



2019年  
(平成31年)  
4月



2019年度  
益城町での小中学生を  
対象とした学習支援  
学生募集

連携 益城町教育委員会  
熊本大学教育学部  
認定NPO法人カタリバ

**① 仮設住宅団地  
(木山・テクノ)  
の夜間学習会のポ  
ランティアを募集  
します**

**② 益城中学校・木  
山中学校の放課後  
学習会(定期試験  
前)のポランティ  
アを募集します**

**③ 益城町の不登校  
児童・生徒を対象  
とするユア・フレ  
ンド(経験者)を  
募集します**

## 教育学部ましき プロジェクト

### はじまります

熊大教育学部は益城町への学習支援活動を行っています。  
熊本地震の被災地の益城町では、仮設住宅にて生活を余儀なくされて  
いる小中学生が、まだ、大勢います。夜間の仮設住宅内集会所で学習  
会が行われています。学習指導ボランティア学生を募集します。

**※交通費(バス代当)支給予定**

**教育学部ましきプロジェクトの説明会 を  
4月17日(水) 14時40分 から  
教育学部3-B講義室 にて行います。**

上記のような活動に興味がある人はぜひ参加して下さい。

呼びかけ人 学生代表：山本壺祐(社会科教育M2)  
教員代表：八幡英幸(教育学部長)

# メンバー

- 【教育学部】(八幡学部長)、田口副学部長、藤中先生、塚本先生、島谷先生、《主》山城先生、大塚先生、(宮脇先生)、《副》松永。
- 【事務】(松村さん、井芹さん、小野さん、)江島さん
- 【益城町教育委員会】井下先生、(坂本先生、)吉田先生
- 【NPO法人 カタリバ】(今村さん、井下さん)
- 【学生】(第1回の参加・・・学園大、熊大教育学部、工学部学生)

※学習会、不登校、教育支援への参加を行う。

益城町

# テクノ仮設団地



# 木山仮設団地



## 支援① 夜間学習会 仮設団地

- 仮設団地に入居した中高校生を中心に、夜間に集中して学習できる場と、安心できる居場所を提供した。

2019/5 - 2020/3	テクノ仮設団地	木山仮設団地
対象学年	中1～高3	中1～高3
実施回数	72回	65回
登録人数	6人	9人
延べ参加人数	281人	441人
平均参加人数	3.9人	6.8人

## 支援② 放課後学習会 中学校

- 家屋の損傷で学習環境を失った中学生に、大学生による放課後学習会を提供した。

事業	日時	対象	延べ参加人数
1 学期テスト前学習会	2019/6/10-11	木山中学校 1～3 年生	100人
1 学期テスト前学習会	2019/6/17-18	益城中学校 1 年生	112人
2 学期テスト前学習会	2019/11/19-20	益城中学校 2 年生	16人

益城中から学習支援の依頼。美術の支援を。

## 学 外 引 率 届

平成31年 4月25日

教育学部長 殿

このたび以下の理由により、下記のとおり学生を引率しますので、届け出ます。

記

日 時	<u>5月7日(火)</u>
場 所	<u>益城町立益城中学校</u>
引 率 教 員	<u>松永拓己</u>
参 加 学 生	<u>名(別紙名簿のとおり)</u>
理 由	<u>益城中学校における団旗画制作指導のため</u>

※参考資料がある場合は、資料を添付願います。



# 令和元年度

- 田口先生
- 宮瀬先生
- 佐藤先生
- 松永

## 熊本の木でつくろう！！ ものづくりフェアin益城

幼稚園や小学生、中学生のみなさん、  
県産の木材やい草等の素材を活用した「もの  
づくり」に参加しませんか。  
いろんな道具を使って「ものづくり」に  
チャレンジしてみよう！！



日時 令和2年2月15日(土) 11:00～15:00

※予約、参加費は要りません。材料がなくなり次第終了です。  
※オーダーストップは14:30です。

会場 益城町立 木山中学校 体育館  
熊本県上益城郡益城町寺迫1090番地

定員 300名(保護者の方も参加できます。)

内容 楢の円形木罩、い草の小物入れ、木のペットボトルホルダー、スパイク  
木のストラップ、楢のチップのオブジェ、木のミニカー、楢のキーホルダー掛  
まめ人形、フェルトのアクセサリー、焼き物 等(予定)

予約・参加費は  
不要です。



主催 熊本ものづくり塾、熊本大学、熊本県教育研究会  
共催 技術・家庭科部会 熊本大学教育学部・ましきプロジェクト  
全国ものづくり塾、全国ものづくり塾八代支部、  
全国ものづくり塾長洲支部 匠の塾  
後援 益城町教育委員会  
協力 大分大学、長洲町、EMS環境推進社、坂瀬川保育園(苓北町)、  
森陸事



事務局・問い合わせ先 (県不詳)  
熊本ものづくり塾 熊本市中央区練兵町45 早野ビル 3F3号  
TEL/FAX 096-325-0193  
携帯 090-4350-0193  
メール ems.monodukuri@gmail.com

先生や大学生、木育推進員がものづくりをお手伝いします。



# 令和2年度

益城中学校  
令和2年度 卒業記念レリーフ制作  
完成 令和3年3月12日(金) 9:00 益城中学校にてお披露目

制作期間 令和3年2月~3月  
制作者 益城中学校3年生および教員 計270名 ※手伝い 大学生(熊大)  
指導および原案制作 熊本大学 教育学部 美術科 松永拓己 准教授  
大きさ 270cm×150cm  
素材 木材



令和2年度3月卒業生一同  
千紫万紅  
君と開く未来への扉  
僕らの友情は変わらない

《完成予定画》

熊本地震の復興の中で学んだ仮設校舎をモチーフとした。  
令和2年度の卒業生が3年間学び、このあと解体されるため、思い出として全員で制作した卒業制作である。

熊本大学 松永拓己 准教授  
のことば

熊本地震の復興の中で学んだ仮設校舎をみなさん一人一人の記念に残るように企画・デザインしました。

令和2年度の卒業生が3年間学び、このあと解体される校舎です。3年間の思い出として全員で制作したことに意味があります。

この浮き彫りを、卒業記念に残し、自分の彫った所を、いつか母校に来られた時に見て思い出してください。





# 卒業記念レリーフ展示 新体育館入口 2021年





# 仮設住宅 学習会支援、 及び 益城中学校 不登校 別室登校支援

- 令和元年度
- 29名
- 249回

令和元年度 ましき被災児童学習支援実績

ボランティア29名 学生氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回数
	10/25	11/22	12/12	1/17	2/18						5
	5/21	6/12	6/13	6/19	6/20	7/10	10/2	10/23	10/28	10/30	21
	11/11	11/18	11/25	11/27	12/2	12/16	12/23	1/20	1/27	2/9	
	2/19										
	7/25	8/19	9/30	10/8	11/26	12/19					6
	6/11	6/18	6/25	8/20	8/21	9/16	10/1	10/8	10/24	10/30	13
	12/5	2/5	2/19								
	11/26										1
	5/28	6/18	6/26	7/10	7/22	7/31	8/5	8/7	9/10	9/17	13
	9/25	10/2	11/13								
	10/15										1
	6/11	7/2	7/16	7/23	10/1	10/15	11/12	11/19			8
	10/10	11/6	11/13	10/10	11/19	11/21	11/26				7
	5/21	5/22	5/29	5/30	6/4	6/5	6/6	6/12	6/19	6/20	27
	6/26	7/4	7/17	7/18	7/23	7/24	7/30	8/6	8/19	9/11	
	9/30	10/7	10/29	11/5	2/17	2/19	2/26				
	5/22										1
	10/10	11/6	11/13	11/20							4
	5/22	6/6	6/13	6/20	7/2	7/4	7/11	7/18	7/29	8/5	54
	8/7	8/8	8/22	8/26	9/12	9/16	9/17	9/19	10/3	10/7	
	10/9	10/10	10/16	10/17	10/21	10/30	10/31	11/14	11/20	12/4	
	10/10	10/16	10/17	10/21	10/30	10/31	11/14	11/20	12/4	12/12	
	12/18	12/19	12/25	12/26	1/9	1/15	1/16	1/22	1/23	1/30	
	2/3	2/12	2/13	2/26							
	5/29	6/18	7/2	7/11	7/17	7/21	8/6	9/19	9/26	10/30	22
	12/16	12/18	12/19	12/25	1/29	2/10	2/12	2/13	2/17	2/19	
	2/26	2/27									
	5/21										1
	9/24	9/25	10/25	11/22	12/20						5
	12/11										1
	6/6										1
	6/6										1
	7/30										1
	5/22	6/12									2
	10/30	11/13									2
	5/28	6/11	6/25	7/9	7/16	8/1	8/8	8/22	8/29	9/26	20
	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/28	12/5	1/16	
	10/30										1
	5/28	7/25	8/5	9/10	9/24	10/17	11/7				7
	1/30										1
	10/17	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	18
	1/11	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	2/27			
	5/21										1
	10/10	11/6	11/13	11/20							4

# 益城中 不登校 別室登校支援 コロナの中で

- 令和2年度
- 4名
- 26回

令和2年度 ましき被災児童学習支援実績							
ボランティア4名 学生氏名	1	2	3	4	5	6	7
[Redacted]	11/12	12/10	2/25	3/11			
	3/14						
	11/18	12/9	12/23	12/23	1/20	2/3	2/10
	3/17						
	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10
延べ人数							

# ましきプロジェクト Zoomオンライン学習会 (塚本先生)

○令和2年5月～

- ・仮設住宅の中学3年生を対象とするオンライン学習会を開始  
(週3回実施)



# 現在

令和3年、4年

①不登校支援活動(こがみ舎)  
美術、(技術、音楽、体育)

②学習支援活動  
(益城中にて継続中)

→教職大学院にて大塚先生が、  
オンラインで、中学校の先生へ  
別室登校への支援

氏名:

活動日時: 令和 年 月 日 時 分 ~ 時 分

活動内容:

---

---

---

---

様子(気づいた点):

---

---

---

---

確認者:

(自署)

# 益城中別室登校 教室



# 木山中別室登校 教室



# 益城町 適応指導教室 こがみ舎





# 益城町 適応指導教室 こがみ舎



# 熊本大学 2022 10大ニュース

2022.12.7



1月～  
10月

熊本経済同友会・理化学研究所等  
との連携協定締結

3月

五高記念館等オープニングセレモニー

4月

先端科学研究部附属  
半導体研究教育センター設置

4月

法学部附属 地域の法と公共政策教育  
研究センター設置

4月

病院感染症対策実践学寄附講座  
(熊本県)設置

# 熊本大学 2022 10大ニュース

2022.12.7



10月

文学部附属  
国際マンガ学教育研究センター設置

10月

病院看護職キャリア支援センター設置

10月

くまもとの未来を拓くグローバルDX  
人材育成プロジェクト開始

11月

紫熊祭 3年ぶりの対面開催

11月

情報融合学環(仮称)・工学部半導体  
デバイス工学課程(仮称)設置へ